

# 先物取引 被害研究

第24号

被害救済に必携!

4月15日 発売

編集発行 先物取引被害全国研究会

頒価 3,000円(送料別)



## 特集

### (1) 講演

## アメリカ商品先物取引法の発展と法理

弁護士 アンドリュー・M・パーディック

#### I. INTRODUCTION

#### II. OUTLINE (質問事項)

#### III. ① 商品先物取引分野での説明義務の内容、法的根拠、同義務違反の法的効果

#### ② 最近5年間における重要な商品先物取引の裁判例とCFTC審決例の概要の紹介

A. はじめに / B. 開示と詐欺 / C. 適合性原則 / D. 適合性原則とオプション取引など

#### IV. ③「両建」手法について

#### V. ④ 損害論について：慰謝料と懲罰的賠償の内容と法的根拠

A. 慰謝料 / B. 懲罰賠償

#### VI. ⑤ Do-not-call規則は、商品先物取引への顧客勧誘にも適用される

#### VII. ⑥ 商品先物取引における投資家損害の賠償請求訴訟の訴状と仲裁手続への申立書

⑦ アメリカの商品先物取引における個人・一般投資家の被害救済に取組む弁護士団体

#### VIII. CONCLUSION

### (2) パネルディスカッション

今川嘉文 神戸学院大学法科大学院教授 他

## ●各地の判例和解紹介 24件

バックナンバーもあります。

更に以前の号もあります。お問い合わせ下さい。

23号[上巻](2004/11) 先物取引と委託者保護のあり方 (上村達男 早稲田大学教授) 他

23号[下巻](2004/11) 準備書面両建の違法性について (青野渉 札幌) 他

22号(2004/4) 商品先物の過当取引規制と民事責任 (今川嘉文 神戸学院大学法科大学院教授) 他

21号(2003/10) 商品先物取引業界の実態と行政問題 (藤野洵『月刊・先物経済界』主幹) 他

お申し込みは、下記の申込票でお願いします。

弁護士 山崎敏彦 宛  
(大阪弁護士会)

TEL. 06-6365-8565 FAX. 06-6365-8539  
大阪市北区西天満2-3-6 大阪法曹ビル402

先物取引被害研究 第 号 ..... 冊(合計 円) 送付希望

申込者

お名前

TEL.

ご住所

FAX.